



令和6年12月4日
大竹市立玖波中学校
保健室

11月21日、インフルエンザが「流行入り」しました(広島県)

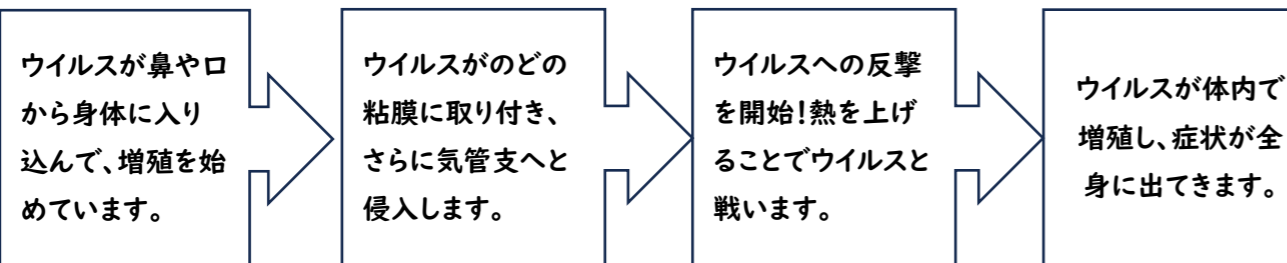
今シーズンは、過去10年間で3番目に早い流行入りとなります。現在、流行している地域は、北部・広島市・西部の順です。私たちの住む大竹市は西部になります。廿日市市では、インフルエンザ流行による学級閉鎖を行う中学校も出てきています。今週末には気温も更に下がる予報がでています。(🌧️マークあり…)

これからさらに、患者数が増加することが見込まれます。

こんな症状に注意しよう！



その時、身体の中では・・・



基本を確実に！感染対策

① 手洗い！ポイントは・・・

- 石けんを使って、30秒以上
- 指の先、手の甲も忘れずに！
- 清潔なハンカチでしっかり拭こう

② マスクの着用！ポイントは・・・

- 不織布(ふしょくふ)製マスクをつけよう
- せき・くしゃみがあるときは、必ずつけよう
- 正しくつけよう

③ 予防接種を活用しよう ～発症をある程度抑える効果や、重症化を予防する効果があります～

従来の皮下投与の不活化ワクチン(注射)に加えて、今秋から鼻にスプレーするタイプの経鼻ワクチンが始まりました。経鼻ワクチンは生きたウイルスを弱毒化した生ワクチンのため、選択には注意が必要になります。



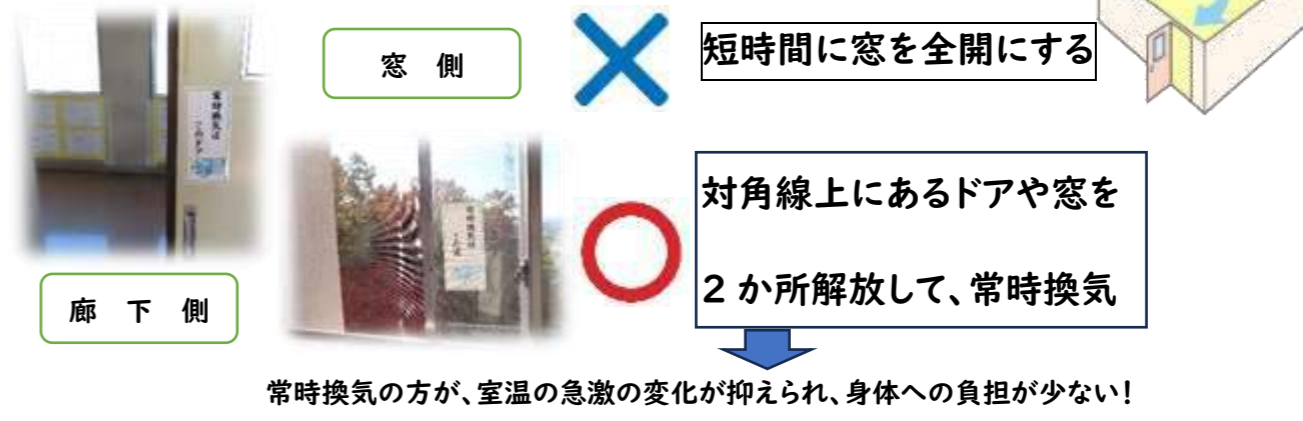
インフルエンザワクチン「フルミスト」の特徴

- 対象:2歳～18歳
- 注射による痛みがない
- 1回の接種で済む
- 鼻水・鼻づまり、せきなどの副反応
- 効果の持続性:約1年間



大竹市内では導入されている病院はまだない可能性が高いです。痛みが苦手な人は、広域で探してみるといいかもしれません…。

④ 換気を常時行いましょう～換気のコツ～



いま、玖波中学校でインフルエンザは流行しているの？

まだ、本校ではインフルエンザの罹患は報告されていません。しかし、油断はできません。今後、流行する可能性は十分にありますので、インフルエンザの感染拡大予防に注意が必要です。

例年、インフルエンザにかかった子どもの中には、インフルエンザと診断されても高熱はみられず、37度前半の微熱しか出なかったり、発熱直後の検査ではインフルエンザ陰性と診断されても、その3日後に陽性反応がみられる場合もよくあります。「このぐらいの熱なら大丈夫」と無理をせず、重症化の予防や集団生活における感染拡大予防のためにも「早めの休養・流行防止」に協力をお願いします。

今月の保健室掲示

「令和6年度 今シーズンのインフルエンザ総合対策について」厚生労働省より

せき・くしゃみの飛沫距離を表しています。マスクをせずに、せき・くしゃみをする、ウイルスは遠くまで広がりますね。アドベントカレンダーをめくって、「風邪予防」のポイントを見てみてね!!

